

# 水 土 里 レ ポ ー ト

|           |                      |
|-----------|----------------------|
| 投稿月日      | 令和7年10月1日            |
| タイトル      | 「岩木川水の旅」～弘前市立弘前西小学校～ |
| 水土里レポーター名 | 水土里ネット板柳東部 事務局長 田中昌吾 |

令和7年9月16日（火）青森県土地改良事業団体連合会、青森県中南農林水産事務所、岩木川土地改良区などの関係機関の協力のもと、弘前市立弘前西小学校4年生22名が「岩木川水の旅」を行いました。

普段私たちが目にしている田や畑にどのようにして「水」が届くのか、ダムや頭首工等の施設を見学し、勉強していきます。「岩木川水の旅」の行程は、「津軽ダム・東北電力津軽発電所→岩木川統合頭首工→左岸幹線用水路（魚のつかみどり）」となります。

『津軽ダム』では、ダム資料館内にて紙芝居を聞きダム上部に移動後、取水塔の説明を受けてその役割や旧目屋ダムとの違いを勉強しました。子どもたちも熱心に説明を聞き、ダム職員の方に質問をしていました。その後、ダム資料展示館から監査廊内に入りました。全長900mある監査廊内は階段の数が多く、移動がとても大変でした。監査廊内を進むとコンジット操作室に着き、ゲートの説明と見学をして外に出ました。白神が故郷橋パークに出て、吊り橋を渡りながら次の見学先へ向かいました。



※紙芝居(ダム資料展示館)



※取水塔の見学・説明



※白神が故郷橋パークにある吊り橋にて説明

『東北電力津軽発電所』では、津軽ダムから取水し、水が高いところから低いところへ落ちる勢いを利用して水車を回し、発電しているとのことでした。水力発電は自然の力を利用しているため、CO<sub>2</sub>を排出しないとのことでした。発電機の中には巨大なコイルが入っていて、電磁石が回転することで電気が発生しており、津軽発電所では発電機が1分間に375回転して電気を発生させているとのことでした。津軽発電所の職員の方から説明を受けて、子どもたちもメモを取り、質問をしていました。



※東北電力津軽発電所（見学・説明）

『岩木川統合頭首工』では、岩木川土地改良区の方が説明をしてくれました。ダムから流れてきた岩木川の水をゴム堰で取水し、用水路へ流して田畑へ水を供給していること、また魚道があり、魚はそこを通ることなどを教えてもらい、施設を見学しました。次に、頭首工から用水路へ供給された水が流れてくる『左岸幹線用水路』へ移動し、魚のつかみどりを行いました。イワナを1人4匹まで捕ってよいとのことで、子どもたちも待ちきれなかったのか、開始の合図とともにつかみどりに挑んでいました。イワナをつかむのに苦労している子どももいましたが、協力し合って楽しそうに捕っていました。今回の「岩木川水の旅」を通して、身近にある田畑にどのように「水」が届くのかについて、とても勉強になった1日だったと思います。



※左岸幹線用水路にて、魚のつかみどり体験

陸奥新報 掲載記事

令和7年9月26日(金)

